

## 令和2年度事業報告書

令和2年度は、コロナ感染拡大の影響のため、定時総会は中止となり、令和2年5月27日、書面決議により承認された事業計画及び収支予算に基づき、県、警察、各地区防犯(生活安全)協会など関係機関・団体と緊密な連携の下、犯罪のない日本一安全・安心な長崎県を目指し、県民の平穏な生活を脅かす犯罪の防止対策、風俗環境浄化及び少年の健全育成等に関する事業を次のとおり行った。

なお、事業推進にあたっては、犯罪の発生状況、とりわけ被害額が高額にある振り込め詐欺をはじめとした「特殊詐欺防止」に重点をおいた取組を行った。

### 第1 犯罪防止のための広報・啓発事業

#### 1 地域安全活動に係る広報活動

##### (1) 全国地域安全運動の推進

全国地域安全運動（10月11日から同20日）に合わせ、

##### ア 防犯ポスターによる広報・啓発

公募したポスター、標語及び青パト活動写真の入選作品を合体し、「防犯広報ポスター」（5種500枚）を作成のうえ、

- ・県下各警察署（地区防犯協会）宛送付
- ・長崎、県営、西肥、島鉄バス4社のバス車内に計40枚

を掲示、広報した。

##### イ バス車体のラッピング広報

長崎、県営、西肥バス3社のバス計22台の車体に「特殊詐欺防止」を呼びかけたラッピング広報を実施した。

（佐世保出身の歌手 前川清氏を広報大使に起用し、特殊詐欺防止をアピール）

##### ウ テレビ（NIB、NCC）コマーシャル広報

「特殊詐欺防止」を呼びかけるCMをNIB、NCC各社で実施  
（30秒：各15回放映。）

##### エ 防犯ポスターの掲示・広報

公募した防犯ポスター作品を長崎市茂里町ココウォークバスセンターに掲示・広報した。（10月10日～10月21日）

##### オ 防犯標語入りキャンペーングッズの配布

県下各警察署（地区防犯協会）宛、防犯標語入りのキャンペーングッズ（ウェットティッシュ7,200個）及びリーフレット（4,000枚）を送付のうえ、各地区において配布した。

##### カ 広報紙の発行

「防犯ながさき」No.35号～37号を発行するなどの広報啓発活動を実施し、県民の防犯意識の高揚に努めた。

## (2) 特殊詐欺被害防止に係る広報啓発

刑法犯認知件数が減少する中、特殊詐欺事案が継続的に発生。これらに歯止めをかけるべく、テレビによるスポットCM、バス車体看板広告及びキャンペーングッズ（団扇7千枚）等による広報活動を行い、特殊詐欺被害防止を呼びかけた。

また、各種研修会や風俗営業管理者講習では、特殊詐欺事案の現状と対策について講話し、被害防止を呼びかけた。

## 2 年末年始防犯活動の推進

年末年始の警戒期間中、防犯キャンペーンなどによる広報啓発活動を行った。

- ・テレビによるスポットCM広報（NIB、NCC 30秒：各15回放映。）
- ・防犯標語入りキャンペーングッズ（マスク）の配布 17,000枚  
（歌手前川清氏による特殊詐欺防止）
- ・バスの車体看板広告 長崎バス等3社計22台

## 3 メディア等を活用した広報活動

県民の防犯意識向上・浸透を図るため、テレビ等各種メディア及びバスの車内放送、車体広告板を活用した通年広報を行った。

- ・新聞広告 5回
- ・バスの車体看板広告（県営、西肥、長崎バス） 3月間22台

## 4 広報紙の発行

当会の活動を広く広報することや各地区防犯協会等との情報伝達・交換を図るため、「防犯ながさき」を作成、関係団体等に配付したほか、ホームページに掲載した。

## 第2 防犯関係団体等に対する助成、支援事業

### 1 地区防犯協会の活動支援

安全・安心まちづくりのため各種防犯活動を推進している各地区防犯協会に対し、当該活動に要する経費の一部（総額960,000円）を助成したほか、各種広報資料及びキャンペーングッズの提供などの支援を行った。

### 2 防犯ボランティア団体の活動支援

自主防犯パトロールを行う民間防犯ボランティア団体（青色パトロール隊）に対し、青色回転灯及び車体側面用マグネットシートを配布、支援した。

## 第3 防犯功労者等の表彰事業

### 1 防犯功労表彰

#### (1) 県防犯協会連合会表彰

各地区防犯協会からの推薦に基づき、防犯功労団体4団体、防犯功労者等13名を表彰した。

#### (2) 全国防犯協会連合会表彰

当会等からの推薦に基づき、金章1名、銀章2名、銅章6名が受章した。

(3) 九州防犯協会連合会表彰

当会からの推薦に基づき、個人4名及び防犯功労表彰1団体が受賞した。

**2 防犯ポスター・標語の募集、表彰等**

- (1) 県民の防犯意識の高揚を図るため、防犯モデルポスター・標語及び青パト活動写真を募集した結果、防犯ポスター206点、防犯標語906点の応募があった。その応募作品の中から、それぞれ最優秀1点、優秀3点、佳作3点を選考の上、入選者に対し県防連会長、県警本部長連名の賞状と記念品を贈呈した。その他の応募者全員に参加賞を贈った。

このほか、本県選出作品が全国防犯協会連合会主催の青パト活動写真の部で「優秀賞」、ポスターの部で「佳作」を受賞した。

(2) 防犯ポスター展の開催

10月の全国地域安全運動期間中、長崎市茂里町ココウォークバスセンターにおいて、防犯ポスターコンクールの応募作品を展示し、市民の防犯意識啓発に活用した。

**第4 風俗環境浄化及び少年の健全育成事業**

**1 善良の風俗環境保持のための事業**

(1) 受託事業の実施

公安委員会からの委託を受けて次の事業を行った。

ア 風俗営業の管理者講習

コロナ感染拡大により、令和2年6月までは法定講習を中止し、7月以降、風俗営業の管理者に対し法定講習を長崎市会場以下8会場で16回行った。

イ 調査業務

風俗営業許可申請に伴う場所的制限地域に係る調査3件を行った。

(2) 落書き一斉消去モデルボランティア事業

防犯及び善良の風俗環境の保持等を目的として、日本塗装工業会長崎県支部の協力を得て、長崎警察署、長崎地区防犯協会、県警本部生活安全企画課及び自治会住民等と共同で落書き消去活動を行った。

○ 長崎市油屋町：11月14日（2箇所）

**2 少年の健全育成関係事業**

(1) 少年補導員等ボランティア活動への支援

少年非行防止と健全育成に取り組んでいる長崎県少年補導員連絡協議会に対し活動助成金として20万円を交付した。

(2) 少年指導委員研修会の開催

県警少年課主催の少年指導委員研修会（長崎、佐世保地区）に出席し、風俗環境浄化及び少年健全育成活動に関する講話を行った。

(3) 少年の健全育成のための広報啓発資料の配布

7月に実施された内閣府主催の青少年の非行問題に取り組む全国強調月間の期間中、各地区で実施されるキャンペーン等に協賛し、リーフレット・チラシ等広報資材を提供してその活動を支援した。

## 第5 その他の活動

### 1 街頭犯罪・侵入犯罪の防犯対策の推進

県、警察が取り組んでいる「犯罪なく3ば運動」の推進、自転車盗防止及び侵入犯罪防止対策としてキャンペーンを行い、市民に「鍵かけ」実践の普及促進を図った。

- 中学校、高校に自転車錠の交付
- 各地区防犯（生活安全）協会に対して、「犯罪なく3ば運動」推進グッズを配布

### 2 薬物乱用防止対策の推進

薬物乱用防止啓発ポスター、リーフレット等を関係機関・団体に頒布して薬物乱用の実態と有害性の啓蒙に努めた。また、中・高校生対象の薬物乱用防止教室において使用する啓発チラシ等の広報資材を提供し、青少年への薬物拡散防止を図った。

### 3 防犯対策の調査・研究関係

防犯対策の充実、高度化を図るため、各種防犯対策会議及び研修会に専務理事及び事務局職員が出席し、防犯対策に関する知識、情報の収集に努め、その会議等の結果を各地区連や地域防犯団体等にフィードバックするなど、その有効活用を図った。

また、全防連発行の月刊誌「安心な街に」、「家庭と防犯」等の防犯情報紙誌を定期購読し、防犯対策の調査、研究に努めた。

主な会議及び研修会の出席状況は次のとおり。

#### (1) 全国防犯協会専務理事会議・風俗環境浄化事業運営管理者会議

10月27日、リモートにより開催された「全国防犯協会専務理事会議」及び「風俗環境浄化事業運営管理者会議」に出席。

#### (2) 西日本ブロック防犯協会専務理事会議

2月25日、リモートにより開催された会議に出席。

## 第6 収益事業関係

### 1 自転車防犯登録事業

自転車防犯登録カード16,552枚について、電算登録用データの作成を行った。

### 2 AMマーク貼付事業

AMマーク(地域防犯協賛機)を各加盟店の遊技台に貼付するとともに、遊技場営業所140店舗について立入を実施し、不正遊技機台の有無についてロムチェック等の点検を行った。

### 3 古物商許可標識等発行取次事業

古物商、風俗営業等に係る許可標識等発行取次状況は次のとおり。

- ・ 古物商許可標識 233枚